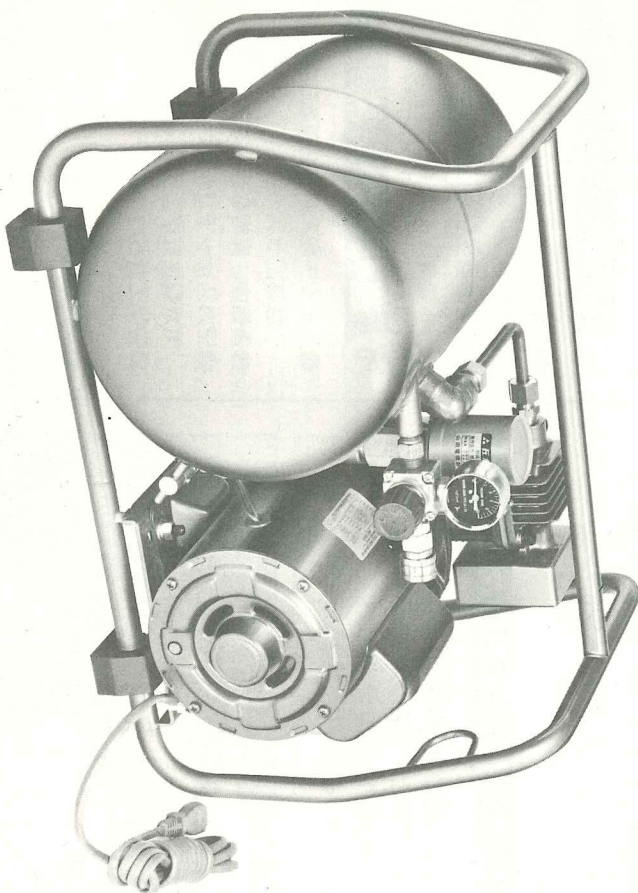


—お願い—安全にご使用いただくため、使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

マックス エレクトロニクス

AK-415PB5《6》

取扱説明書



MAX
®

このたびはワックスエアコンプレッサをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。あなたの片腕としていつまでも調子よくご使用いただき、最大の効果をあげられるために、説明書どうりのお取扱いをお願いします。

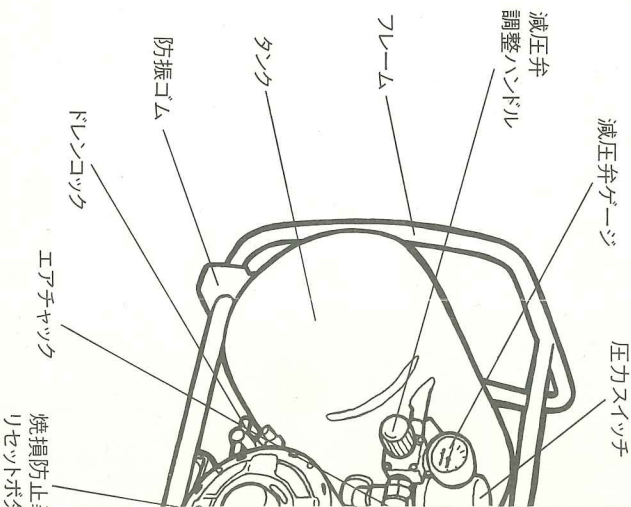
1 製品仕様

名 称	ワックスエアコンプレッサAK-415PB5《6》
製 品 記 号	AK-415PB5《6》
寸 法(mm)	高さ350×巾400×長さ510
重 量(kg)	28
制 御 方 法	圧カスイッチ式
モ ー タ	单相誘導電動機 0.4kW
使 用 電 源(V)	单相 100 (50Hz) (60Hz)
全 負 荷 電 流(A)	7.2(50Hz) 6.4(60Hz)
回 転 数(r.p.m)	1440(50Hz) 1730(60Hz)
最 高 使 用 圧 力(kg/cm ²)	8.0(0.785MPa)
吐 出 量(Nℓ/min)	45(50Hz) 45(60Hz)
気筒径(mm)×行程(mm)×気筒数	60×23×1
エ ア タ ン ク 容 量(ℓ)	15
減圧弁の圧力調整範囲(kg/cm ²)	0~7(0.686MPa)
安全弁の設定圧力(kg/cm ²)	9.5(0.932MPa)
エ ア 取 出 口	エアチャック

現品の確認

- コンプレッサが到着しましたら次の確認を行ってください。
- ①ご注文の製品かどうか。(50Hz用、60Hz用は、パッケージとネームプレートに明記してあります)
- ②輸送による破損や部品の紛失がないか

2 主要部品名称

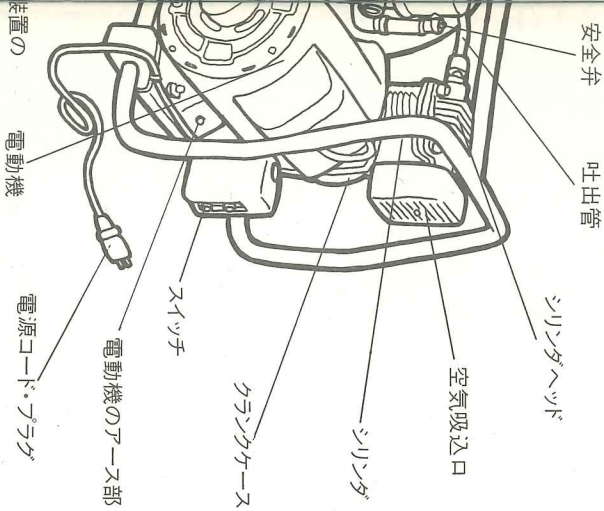


3 使用上の注意

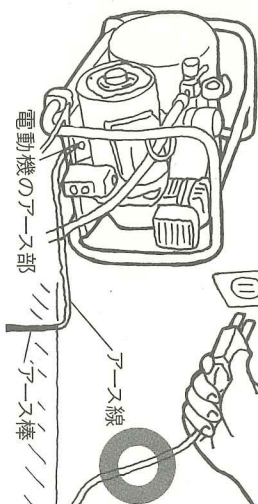
どうか。

※上記の点で不都合がありましたら、お買求めの販売店へご連絡ください。

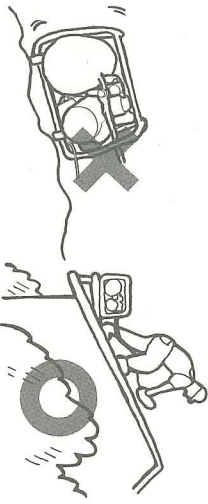
※使用電源の周波数が異なる地域でご利用になる場合には、必ず販売店へご相談ください。



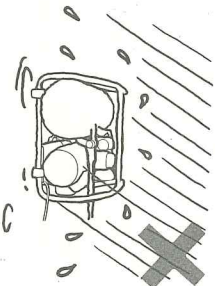
①感電事故防止のため、電動機のアース部をアース線を使用して必ず接地してください。なおアース線をガス管等に取付することは危険ですので絶対にさけてください。



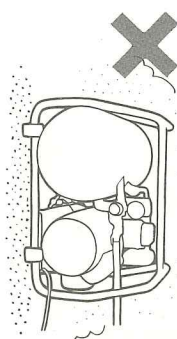
②本機使用の際は、床面が硬い氷平な場所に設置してご使用ください。また高所(屋根等)で使用する際は、必ず落下防止をしてください。



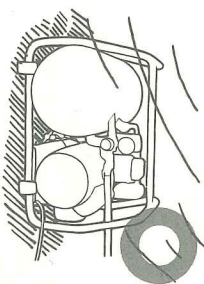
③雨天や湿った場所での使用はさけてください。感電事故やモーターの絶縁不良につながります。



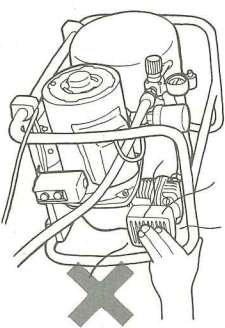
④ゴミ、ホコリの多い場所での使用はさけてください。空気吸込口のフィルタエレメントが目詰りをおこし、性能が著しく低下します。



⑤高温や直射日光が当たる場所で使用すると、耐久性が低下しますので、風通しのよい日陰に設置してご使用ください。

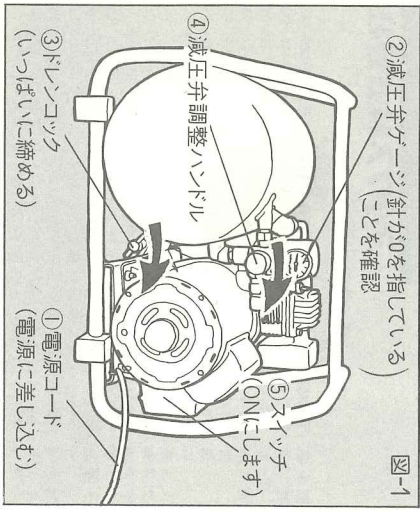


⑥運転中、圧縮機のシリンダヘッド、空気吸込口、シリンダ、クラシクケース、吐出管等は高温になりますので、さわらないでください。



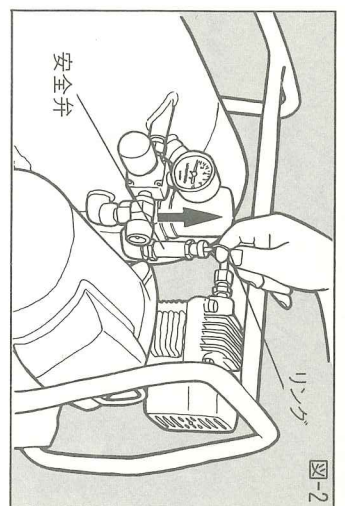
4 運転前の点検・確認

- ①電源コードのプラグを100V電源に差し込みます。(図-1)
- ②減圧弁のゲージの針が0を指していることを確認します。(図-1)
- ③ボンコックをいっぱいに締めます。(図-1)
- ④減圧弁調整ハンドルを右にいっぱいに回します。(図-1)
- ⑤スイッチをONにします。(図-1)

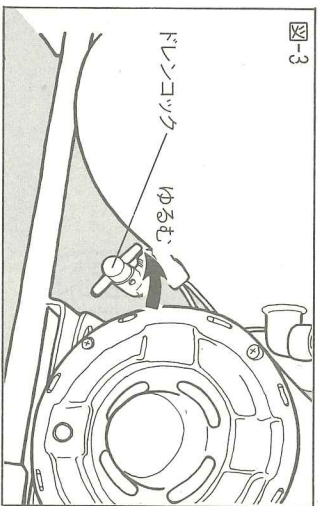


上記①～⑤を行いますと約2分ほどで圧カスイッチが作動して自動的に運転が停止します。

- ⑥運転が停止した時点で減圧弁ゲージの目盛が8を指していることを確認します。
- ⑦安全弁のリングに指を掛けて軽く上に引くつばると、安全弁からシューと空気が吹き出します。(図-2)



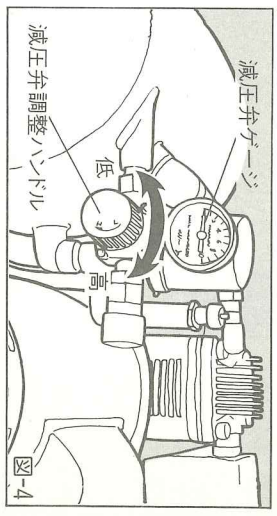
- ⑧次にボンコックをゆるめると減圧弁ゲージの針が移動して7を指すと運転を開始します。(図-3)



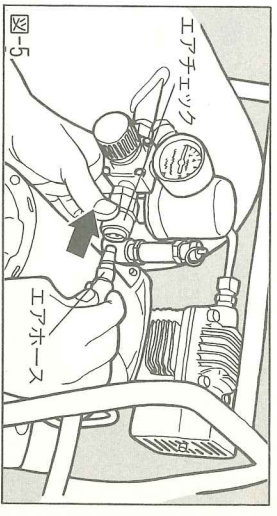
- ⑨運転を開始することを確認したら、ボンコックを締めて、再び空気を充填してください。
 - ⑩圧カスイッチが作動して運転が停止し、5分以内に再起動しないことを確認してください。
- ※以上の点検・確認で異常がありましたらお買求めの販売店、又はもよりのマックスサービステーションまでお申し付けください。

5 2使用方法

- ①スイッチをOFFにして電動機のカーブス部をカーブス線を使用して接地します。
 - ②ボンコックが締まっていることを確認します。
 - ③電源コードのプラグを100V電源に差し込みスイッチをONにします。
 - ④圧カスイッチが作動して運転を停止したら、減圧弁調整ハンドルを回して、使用する圧カに調整してください。
- 調整ハンドルは右に回すと圧カが高くなり、左に回すと圧カが低くなります。(図-4)

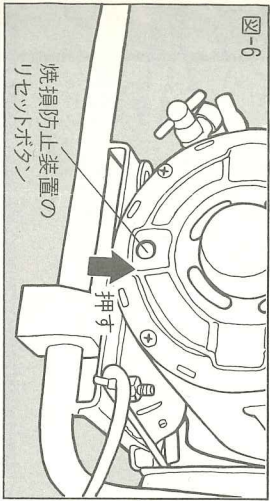


- ⑤圧カの調整が終了したらエアチャックにエアホースを接続して作業を開始してください。(図-5)



※運転時に電圧降下が大さいと電動機の焼損防止装置が作動して電動機が止ります。この場合は、

- ①スイッチをOFFにします。
- ②延長コードが長すぎたり、細すぎないか、又は同一電源で他の電動工具等を使用していないかを調べ、その状態であれば延長コードをやめたり、他の電動工具の使用をやめます。
- ③モータが十分冷えてから焼損防止装置のリセットボタンを押して、スイッチをONにして起動させてください。(図-6)



お願い

運転中はシリンダーヘッド、空気吸込口、シリンダー、クラフクレーン、吐出管等は相当高い温度になります。これは空気を圧縮する時に生じる熱です。から心配はありませぬ。

しかし直接手をふれるとヤケドをする危険がありますので充分注意をしてください。

6 使用後

- ①作業が終了したら、スイッチをOFFにしてプラグを電源より抜いてください。
- ②トリノコツツをゆるめて、空気タンク内の空気と水を減圧弁ゲージの針が0を指すまで全部抜いてください。

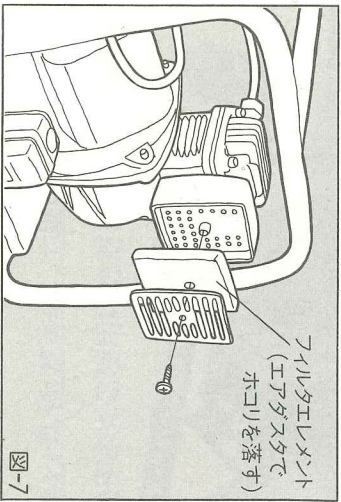
お願い

水抜きをしないとタンク内に錆が発生して、故障の原因となりますので必ず水抜きをしてください。

- ③水抜きをしましたらトリノコツツを締めて、エアチャックからエアホースをはずしてください。

7 性能を維持するために

- ①空気吸込口のフィルタエレメントにゴミやホコリがたまると、空気の吸込みが悪くなり、吐出空気量が低下しますので月に1度、エアスタ等でもホコリを落してください。(図-7)



- ②本機を移動する際、エアホースをつかんで引つ

ばつたりせず必ずグリップを握って持ちこびてください。

- ③プラグを電源コードより引抜く際、コードを引っ張ると、コードの断線、ショートの原因となりますので必ずプラグを持って引抜いてください。

- ④時々、ネジやボルト類がゆるんでいるかどうか点検し、ゆるんでいたら締めなおしてください。

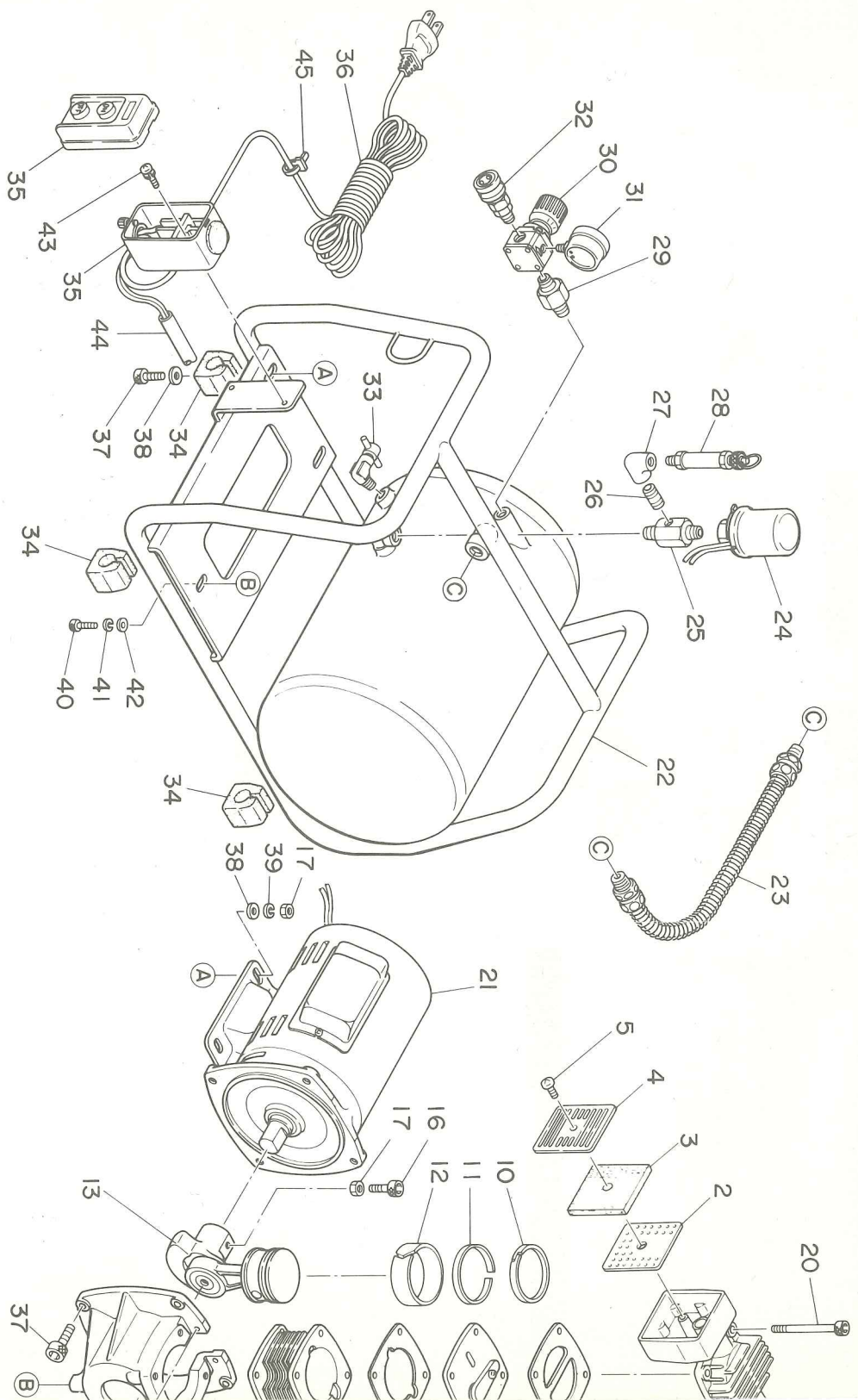
8 注油

- ①本機は自己潤滑性のピストンリングを使用し、軸受部はグリスを封入してありますので、注油する必要はありません。

9 運転中の異常

- ①スイッチを入れても運転しない、又はモータがうる。
- ②運転中、異常な音がする。
- ③圧力スイッチが作動せずに安全弁が作動し、空気が吹きだす。
- ④空気圧が8 kg/cm²以下の時に安全弁が作動し空気が吹きだす。
- ⑤空気がもれている。

※上記の異常を発見した場合には、ご自分で修理せずにお買求めの販売店、又はもよりのアツツ入サービスマンションまでお申し付けください。

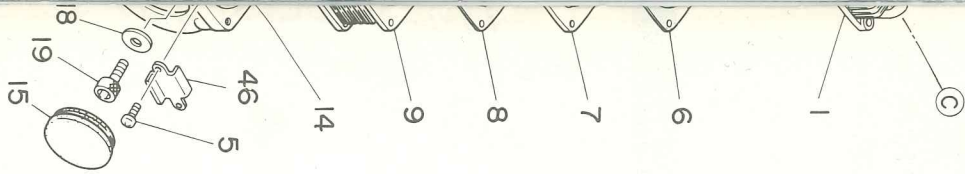


● 部品のご注文は必ず部品記号でお願いします。

10 分解見取図・部品表

索引番号	部品記号	部 品 名	個数	索引番号	部品記号	部 品 名	個数
1	AK10501	シリンダヘッド	1	25	AK10534	特殊三方継手	1
2	AK10302	遮音板	1	26	AK10535	バレルニツブル $\frac{1}{4}$	1
3	AK10303	フイルタエレメント	1	27	AK10536	エルボ	1
4	AK10304	フイルタ押エ	1	28	AK10338	安全弁アツセンゾリ	1
5	AA21118	十、ナベ小ネジ 5×10	3	29	AK10346	六角ニツブル $\frac{1}{4}$	1
6	HH20046	シール46	1	30	AK10526	減圧弁	1
7	AK10305	吸吐弁アツセンゾリ	1	31	AK10527	減圧弁ゲージ	1
8	HH20047	シール47	※	32	TT05004	エアチャック	1
9	AK10541	シリンダ	1	33	AK10521	ドレンコックアツセンゾリ	1
10	AK10543	ピストンリング	1	34	AK10537	防振ゴム	4
11	AK10542	ピストンリング押シバネ	1	35	AK10528	電源スイッチ	1
12	AK10544	ガイドライナ	1	36	AK10530	電源コード(プラグ付)	1
13	AK10502	クランクシャフトアツセンゾリ	1	37	BB40424	六角穴付ボルト 8×25	6
14	AK10504	クランクケース	1	38	EE31115	平座金1-8	4
15	AK10505	クランクケースキャップ	1	39	EE11106	バネ座金2-8	2
16	BB40462	六角穴付ボルト 8×20	1	40	BB40447	六角穴付ボルト 6×18	1
17	CC41105	六角ナット1-8	3	41	EE11101	バネ座金2-6	1
18	EE39154	特平座金154	1	42	EE31105	平座金1-6	1
19	BB40463	六角穴付ボルト 10×15	1	43	AA01104	バネ座金付十、ナベ小ネジ 4×10	2
20	BB40458	六角穴付ボルト 8×90	4	44	AK10545	コード保護チューブ	1
21	AK10507	单相誘導電動機	1	45	AK10371	結束バンド	1
22	AK10508	空気タンクフレームユニット	1	46	AK10506	ダストプレート	1
23	AK10546	吐出管セット	1				
24	AK10351	圧カスイッチ	1				

※50HZ用は1枚、60HZ用は2枚



●この取扱説明書は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス株式会社



本社・東京支店	〒103東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03)669-8111(代)
大阪支店	〒553大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06)444-2031(代)
名古屋支店	〒461名古屋市東区徳川1-11-23	TEL (052)935-8531(代)
福岡支店	〒812福岡市博多区博多駅南4-16-6	TEL (092)411-5616(代)
広島支店	〒733広島市西区南観音6-9-27	TEL (082)291-6531(代)
札幌支店	〒060札幌市中央区北一条東13-1新川ビル内	TEL (011)261-7141(代)
仙台支店	〒983仙台市大和町5-5-25	TEL (022)296-4121(代)
茨城支店	〒319-11茨城県那珂郡東海村石川575-64	TEL (0292)20-3142(代)
三群支店	〒673-04兵庫県三木市大村261-3	TEL (079)480-3-2121(代)
群馬支店	〒379-22群馬県佐渡郡赤堀村大字今井943-2	TEL (0270)62-1123(代)
高松支店	〒760香川県高松市塩上町3-20-9	TEL (0878)62-1919(代)
長野支店	〒390-12長野県松本市大字神林砂畑3927-12	TEL (0263)266-4377(代)
三条支店	〒955新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (02563)4-2121(代)
岡山支店	〒330岡山県岡山市宮原中1-6-14	TEL (0486)51-5541(代)
岡山支店	〒702岡山県岡山市宿置町798-2	TEL (0862)64-9581(代)
松山支店	〒790愛媛県松山市保免町798-2	TEL (0899)73-6123(代)
静岡支店	〒422静岡岡原市敷地1-3-26	TEL (0542)37-6161(代)
金沢支店	〒921石川県金沢市森戸2-15	TEL (0762)40-1871(代)
千葉支店	〒281千葉県千葉市長沼原町683	TEL (0472)57-1311(代)
岐阜支店	〒500岐阜県岐阜市北一条4-3-5	TEL (0582)47-6121(代)
岐阜支店	〒241岐阜県岐阜市旭区さちが丘7-6	TEL (045)364-5661(代)
盛岡支店	〒120岩手県盛岡市下太田柳45-1	TEL (0196)58-1131(代)
京滋支店	〒607京都府京都市山科区西野樋川町50	TEL (075)581-381(代)
神戸支店	〒652兵庫県神戸市兵庫区尾原通4-1-29	TEL (078)652-2676(代)
神户支店	〒104東京都中央区新川2-2-6	TEL (03)552-8365
東京支店	〒543大阪府大阪市天王寺区上沙3-7-15	TEL (06)772-3960
東京支店	〒161愛知県名古屋市中区徳川1-11-23	TEL (052)935-82110
福岡支店	〒812福岡県福岡市博多区博多駅南4-16-4	TEL (092)451-6430
福岡支店	〒733広島県広島市西区南観音6-9-27	TEL (0822)91-5670
福岡支店	〒983宮城県仙台市大和町5-5-25	TEL (0222)57-0778
札幌支店	〒060札幌市中央区北一条東13-1新川ビル	TEL (011)231-6487

●SSはサービスマン・サポートです。